

# J E M S Jiho 時報

日系人福音宣教協力会

第 51 卷

2020 年 1・2・3 月号

## 神は、この方を死の苦しみから解き放って、 よみがえらせました。 使徒 2:24

イエスの復活は止められない

カナンプレイズチャーチ牧師  
長沢崇史師



日本が世界に誇るエンターテインメントの中にアニメや漫画というもの

がある。そんな私も漫画が大好きな男の一人である。とりわけ近年その人気が急上昇している原泰久氏が原作の中国の戦国時代を描いた『キングダム』という漫画は、四七〇〇万部をゆうに越え、今や最も勢いのある漫画の一つと言えよう。何がそんなに楽しいのか？

どんな劣勢に立たされてもそれを打開し勝利していく姿に感動するからだ。列国が恐れる最強の將軍が敵にいる時も、数的に圧倒的不利な状況が起こっても、あるいは敵国の全てが連合軍を結成し攻めて来た時も、何度もう駄目だと思っただ中で思わぬ所から援軍が来て助かる。そして勝利する。その度に読者に何とも言えない感動と興奮を与えるのだ。

私たちはそのようなストーリーを漫画を読むことで初めて知る。しかしどんな話の展開も作品が出来る前からそれを知り、必ず勝利に導くように作ることが出来る人

物がある。その漫画の作者である。作者は、最初からストーリープランを立てて描いているからだ。神様も同じで私たちに人生を与えたその瞬間から、敗北のプランを立ててはいない。勝利のプランを立てた上で私たちに人生を与えてくれている。つまり私たちの人生もこの方によつては敗北は決して無い。なぜそう言えるのか？ 私たちにとつて最も大きな問題である「死」に対してイエスはすでに勝利しているからだ。

福音の中心は何かと聞かれた時多くの人は「十字架」と答えるだろう。全ての人が罪人であるから自分に適用しやすいからではないか。自分の罪の代わりに罰せられたイエスを見る時に、私たちは罪からの解放を体験する。そして十字架こそ神の愛の象徴だと言うことを思わされる。

しかし、十字架で終わってしまった罪に対する贖いは完成されたとしても、永遠の希望であるキリストの福音は完成されない。キリストはよみがえったからだ。もしキリストがよみがえることがなかったら、この福音はむなしなものに終わるし、私たちに永遠の希望などない。ましてや、人生の勝利者になりえることは絶対になり、私たちは逆にイエスを十字架につけてしまった自分たちの罪を

足かせに生きていかなければいけなくなる。「そして、もしキリストがよみがえらなかつたのなら、あなたがたの信仰はむなしく、あなたがたは今もなお、自分の罪の中にいるのです。」(第一コリント一五章一七節)キリストが全ての罪を背負って十字架に架かったことによつて、あなたの罪が赦されたのは事実。しかし、もしよみがえることがなかったら、罪に対して勝利したことはならない。キリストが復活したから、私たちは罪に対して、その報酬である死に對しても完全な勝利者となる。十字架は復活の事実があるからこそ、完全な神の御業である。これこそ私たちの信仰の心髄。勝利者であるという核心。そしてサタンの完全な敗北を意味している。よく雁字搦めに鎖で縛られ、箱の中に入れられ厳重に鍵を閉められ、さらに水に入れられ、鍵は箱の外というような脱出マジックのショーを目にする。それがより厳重であればあるほど、脱出のすごさが際立つ。実はイエスの復活に對してもサタンはそれが起こることを妨げるためにあらゆる手を尽くした。

(次ページに続く)



一つ目に、イエスの死は完全な死だった。イエスはもちろん仮死状態だった訳ではない。実は仮死状態だったと言う未信者は少なくはない。しかしイエスの死は文字通り完全な死だった。心臓が止まり、息が止まり、脈が無くなり、冷たくなり、体の機能の全てが停止した。一時的でなく、完全に命にピリオドが打たれた。そして墓に葬られた。サタンはどれほど喜んでだろう。憎き天敵の死を目の前にして高笑いが出まらなかつたろう。

二つ目に、イエスの墓は嚴重に塞がれ、警備されていた。(マタイ二七章六二〜六六節) 昔の墓は洞窟のように大きな穴があいただけのもので、重要人物の墓などはその遺体が盗まれないように巨大な石でその穴を塞いでいた。この石は動かす事ができるのか? 古い写本の一つには「この石は非常に大きく男二十人でも動かすことができない程だった」と書かれている。つまり弟子たちがこれを動かすのは無理。沢山の人数だったらできたのでは? それもできない。なぜならそこには番兵が配置されていたから。そんなこともあるかとピラトはローマの番兵たちを配備していた。私たちのイメージでは番兵は二、三人くらいのイメージ。しかし、この番兵と訳されている言葉はカストディアンと言うギリシャ語で、良く訓練された

兵士十六人からなる、無敵を誇るローマ軍の方陣を構成する一単位を意味する言葉だ。つまり最低でも十六人のローマ最強の兵士たちが嚴重に守っていたことになる。弟子たちが何人いたとしても行って盗めるようなものではなく、ましてはバレないように行って、その重たい石を運ぶなんて不可能。つまり、ありとあらゆる手段を持ってイエスの墓は塞がれ、閉ざされ、堅く鍵を閉められた。

三つ目に、イエスはよみの最も深い所までくだった。イエスは肉体が死んだだけでなく、その霊も滅びの世界、つまりよみの深みにまで下っていった。ギリシャ語で「ハデス」と呼ばれるところ。

(使徒の働き二章二四〜三二節) これは詩篇一六篇で、ダビデがキリストについて預言した言葉。彼はよみ(ハデス)に捨てて置かれる事は無い。イエスはよみまで下った。霊の世界においても神の光が全く届かない世界に行かれた。絶望と苦しみと叫びが満ちている世界。二度と光を浴びることのない世界。終わりのない永遠の苦しみの世界。イエスは肉体だけでなく霊もそこまで下っていった。罪人として完全に神が見えない暗闇まで下った。

四つ目に、イエスの死後、そこには失望が満ちていた。イエスが死んだ時、どれほどの失望があっただろう。弟子たちの中に、信じ

ていた者たちの中に、神の国を待ち望んでいた者たちの中に。イエスが王だと信じ全てを捨てて行って行った者たちの中に。彼らの失望と敗北感、空虚感はい表すことが出来なかった。お先真つ暗。それだけじゃない。ユダヤ人から命を狙われ、逃亡する生活になった。敗北感しかない。

サタンはこのようにして、イエスの復活を徹底的に阻止しようとして手を尽くした。しかし、それでもイエスの復活を止めることはできなかった!!! 死も、鉄壁な墓も警備も、ハデスの力もまたどんな失望も、イエスを死の中に閉じ込めておく事はできなかった! それら全てに対してイエスは完全に勝利したのだ!

使徒の働きにこのように書かれている。「しかし神は、この方を死の苦しみから解き放つて、よみがえらせました。この方が死にながれていることなど、ありえないからです。」(使徒の働き二章二四節) すべての縛り、全ての壁、すべての反対する力を押しつけてイエスはよみがえられた!!! なぜか? あなたを愛しているから。あなたに希望を与えるため! あなたの人生に勝利を与えるため! イエスはよみがえられた!!! ここに私たちの信仰がある。ここに私たちの核心がある。もう私たちをおびやかすものはない。

## 第 71 回 マウント・ハーモン修養会 6月28日(日)~7月4日(土)

### 【テーマ聖句】

主が行われた奇しいみわざを思い起こせ  
(詩篇 105 篇 5 節)

### 【朝の聖書講解】 講師:長沢崇史師

カナブレイズチャーチ牧師  
カナン祈りの家“CHOP”ディレクター  
ワーシップリーダーとして活躍



【夜の集会】 メッセージ:修養会参加牧師

### 【ユースキャンプ】

Jr.High(6・7年生):\$541 Int.High(8・9年生):\$541  
Sr.High(10-12年生):\$549 College \$546

### 【申し込み】 [www.mounthermon.org/jems](http://www.mounthermon.org/jems)

カンファレンスセンターでの宿泊は満室となっております(相部屋を除く)。カンファレンス近くの AirB&B などをご利用頂き、修養会にご参加下さい。

【詳細】(213)613-0022 [minakof@jems.org](mailto:minakof@jems.org)

## イースター随想

### イエス様の食卓



酒巻 和美

食事は何を食べようかではなく、誰と食べようかが大切・・・。

イエス様の十字架の死と復活の命に与り、神様のご愛の中で信仰生活ができますことを心から感謝いたします。

子供の頃のイースターの思い出はエッグハント。ゆで卵が教会の庭のあちらこちらに隠されて、何個でも取って良いというものでした。我が家は四人姉弟でしたので、私たちがとった大量の卵を母がどのように使ったかは覚えていませんが、教会の大人達が、子供達にイースターを楽しみ思い出ししようとした努力は大成功だったと思います。今は、プラスチックの卵型ケースにシールやお菓子を入れたのを使いますので、卵消費に親が頭を悩ます事もなく、親子共々楽しめるイベントになっています。今やこのイベントは教会から飛び出て、公園やショッピングセンターでも催されるようになりました。イースターの本当の意味を理解しているかは別として、イースターが広く知られ、子供達の心に喜びとして刻まれる事なら、悪い事では無いと思うのです。

さて、イエス様の生涯を記す福音書を読むと、卵を食べる話は出てきませんが、食事の話が多く登場します。イエス様は「大食漢で大酒飲みだ。徴税人や罪人の仲間だ」(マタイ十一章十九節、ルカ七章三十四節)とフアリサイ派の人々や律法学者たちから言われましたが、何を食べたかはあまり記されていません。

イエス様の最後の晩餐のメニューは何だったのでしょう？十字架にかかる前の最後の晩餐は、逾越の食事(マタイ二六章一七〜二五



酒巻先生と共に

節、マルコ一四章一二〜二二節、ルカ二二章七〜一三節、ヨハネ一三章二一〜三〇節)と書かれています。逾越の食事の起源は出エジプト記一二章に記されています。食事に用意した小羊の血を鴨居と入り口の二本の柱に塗り、主がエジプト人を打ちに巡る時、血の塗られた家を通り過ぎる、過ぎ越されるという出来事から来ています。丁寧に食事を用意する時間が無かったので、小羊は内臓も取らずに丸焼きにし、酵母を入れないパンと苦菜を急いで食べなければなら

ませんでした。そして、このことを永遠に守るよう、神様から命じられました。ユダヤ人が逾越の食事を大切に守っているのは、神様がイスラエルの民を選び、エジプトの苦難から救い出して下さったことを子々孫々に伝える神様からの命令があるためです。またその継承は、神様がイスラエルの民を愛し救われたことを事実とならしめるものです。この逾越の食事は三千年の間続けられているのです。

福音書に記されている有名な食事の場面は、五千人の給食(マタイ一四章一三〜二二節、マルコ六章三〇〜四四節、ルカ九章十〜一七節、ヨハネ六章一〜一三節)と、復活後にイエスが弟子たちに現れた時の食事(ヨハネ二一章九〜一三節)です。イエス様がパンと魚を祝福したとあります。イエス様が食べたのか明確には記されていませんが、「食事が終わると」とありますので、きっと一緒に楽しんでたのでしょうか。カナの結婚式で水をぶどう酒に変えた奇跡の話(ヨハネ二章一〜一三節)やマルタが一生懸命イエス様をもてなそうとした話(ルカ十章三八〜四二節)においても、誰と食事を共にしたかが重要だったように思われます。冒頭に記した「食事は何を食べようかではなく、誰と食べようかが大切」は、一九八〇年代から九〇年代にかけてロサンゼルスに

おられた名尾耕作先生の言葉です。先生は日本ルーテル教団で理事や議長をされ、日本ルーテル神学校で教鞭をとられ、日本で初めて『旧約聖書へブル語大辞典』を著した旧約聖書の大家です。日本で引退された後、日系二世のお連れ合いとガーデナ市に住んでおられました。夫人の環さんが一九八九年に天に召され、名尾先生がお一人で生活をされている頃、近所に私たち夫婦が日本から移り住みました。そして、初めて先生をお食事にお招きした日に教えていただいたのがこの言葉です。私はこの言葉に感動し、先生との週一回のお食事がこの時から始まったのです。

私たちの食卓はイエス様が一緒におられるような、和やかで楽しく、先生の貴重なお話に聞き入ることが出来る素晴らしい時間でした。何を食べたかは記憶にありませんが、時になつた先生の忠告や励ましの言葉は今でも心に温かく残っています。「食事は誰と食べようかが大切」という言葉は、誰もが頷く言葉だと思います。私には、名尾先生との食事が「イエス様の食卓」だったのだと後に気づかされたのです。イースターを迎えるこの時期、もう一度周囲を見回して、一緒に食べるべき方々とイエス様の食卓を囲む事ができたらと願います。(アトランタ日本語バプテスト教会)

## メビックで受け継いでいくもの



佐渡はるな

私ははじめてメビックに行ったのは小学校二年生の時です、転校先の学校で出会った友達が公園メビックに行っており、その友達から公園メビックに誘われ一緒に行ったのがきっかけでした、公園メビックがとても楽しく、毎週その友達と参加していました。

公園メビックに行き続けていくうちに日曜日のスペシャルメビックでフェスティバルがあることを知り、楽しくて続けてメビックに行くようになりました。

はじめはただ楽しくてメビックに行っていました、小学校三年生の夏にメビックのキャンプに参加し、そこで「子よ、あなたの罪は許されました」(マルコの福音書二章五節)というみ言葉が語られ、担任の先生とのコンサルティングの中で、私が自分で罪だと思っていなかった事も神様の目からは罪であって、その罪を赦し、私が天国に行けるようになるためにイエス様が十字架で命を捨ててくださったことを知りました。そこまで神様が私の事を愛してくれていることがわかり、この神様を信じていくことが幸せな人生なんだと思いいエス様を信じました。

ですが、イエス様を信じたから罪を犯さず完璧なクリスチャンになったわけではありません。メビックの先生に嘘をついてミラクルメビック(お友達への祈り会)をさぼったり、お友達を虐めたり、キャンプでメビックの先生に神社のお祭りに行くのをやめる、偶像礼拝になるので行かないと決心して自宅に帰った次の日に、神社のお祭りに行つて遊び、帰り際にばったりメビックの先生に会い叱られたり、と本当に



左から2人目がはるなさん

イエス様を信じているのか?というような信仰でした。

でも、メビックの先生は私を見放さず何度も何度も罪を犯すたびに、一緒に悔い改めの祈りをしてくださいました、またどうして私がそんなにお祭りに行きたがるのかという理由を一緒に探ってください、私が寂しくて、寂しさを忘れるためにお祭りに行っていたということを誰かしてくれました。その寂しさを誰

よりも神様がわかってくれること、何度もやり直せることを教えてくれました。私は何度も叱られ、悔い改め、やり直しすることによって、成長させていただきました。

しかし、中学生になり、私が夢中になつて教会やメビックに行くようになったのを親がみて、急にメビックに行くことに反対してきました。家では毎日のように悪口を言われ、時にはメビックに苦情や文句の電話を何度もかけていました。私は親が怒鳴りながら教会に電話をかけているとき、もうメビックに行けなくなる、先生に嫌われると思っていました。でも、私がメビックに行つたとき、先生に謝らうとすると、先生は「先生は大丈夫。あなたがイエス様を信じて幸せになるためなら何度文句言われてもいい。そんなのいくらでも受けてあげる。親が文句言ってくる事であなただの事を先生は嫌いになつたり、めんどうくさくなつたりしない。安心してメビックにおいて。祈ってるよ。」と言ってくれました。その先生の言葉を聞いたとき、イエス様も私が幸せになるためならどんな罰も苦しみもいよいよ言つて、私のために罪の罰を受けてくださったことがわかりました。

私はこの三月で二十三歳になります。今、札幌市の学校で、給食調理業務の責任者をしています。最初はチーフになるつもりはありません

でした。職場の人たちの八割以上は私の親の世代ですし、他のチーフたちは、私より十五歳も年上です。そんな人達の上に立つことなど出来るはずはないと思っていました。でも、神様に「やってみたらどうですか」と言われているようで、メビックの先生の勧めもあって、いくつかの試験だけでも受けてみようと思つて受けてみると、全部受かつてしまいました。その後も悩みに悩んで、祈つて神様が助けてくださるならと決心して、二十一歳でチーフになりました。チーフになった時、会社の社長さんに「全国で最年少チーフだよ」と言われてビックリしました。今年で三年目です。メビックでリーダーをやらせてもらったこと、リーダーとしてあるべき姿や何が大切な事なのか教えてもらい、小中高生時代にメビックで受けてきた訓練が本当に私に必要だったことを知らされました。仕事で失敗しても、失敗したことを楽しみ、良しとする事など、メビックの弟子訓練で学んだことはたくさんあります。何よりも、神様の凄さや愛、奉仕の楽しさ、喜びを教えられてきました。神様が責任をもって私の人生を祝福してくださっているのです。

今まで受けてきたもの、これから受けていく祝福や訓練を今度は次のお友達に受け継いでいくようにしていきたいと思うのです。

(愛隣チャペルキリスト教会)

## JEMS 宣教の働きにご協力感謝!

尊い主の御名を讃えます!

昨年12月、JEMSでは2019年12月31日に期限が切れる\$55,000の助成金(GRANT)が有効となるためには、500人の新たな賛助者を必要としました。最終的に520名の献金者が与えられました。皆様の寛大な志とJEMS宣教へのご協力に心から感謝申し上げます。また、家族や教会の仲間、牧師先生に協力を呼びかけて下さった方々が与えられたことも祝福でした。多くの方々のお祈りを感謝します。

助成金の\$55,000の内、\$15,000はマウントハーモン修養会の参加者やユースキャンプのキャビンリーダーたちへのスカラシップに充てられます。彼らの参加費用を援助することができます。また\$40,000は日本宣教、AACF(大学キャンパスミニストリー)、JEMS Pacific Northwestの働きに用いられます。520名から捧げられた献金は、JEMSのオフィス運営費として使われます。それによって福音宣教の働きを前進させていくことが出来るようにお祈りください。

「私は、あなたがたのことを思うごとに私の神に感謝し、あなたがたすべてのために祈るごとに、いつも喜びをもって祈り、あなたがたが、最初の日から今日まで、福音を広めることにあずかって来たことを感謝しています。」(ピリピ1:3-5)

JEMS 総主事 リック中馬

## JEMS 新アドミニストレーター

昨年9月よりHelena KayaがJEMS オフィスでアドミニストレーターとしての働きを始め、オフィス管理・運営全般に関わる仕事を担当しています。

ヘレナさんは、21年間、裁判官オフィスで働き、その後2年間、弁護士事務所で働き、その弁護士が他州に移るため、新しい仕事を探していたところ、JEMSのウェブサイトで見つけ、まさに神様が用意してくださったベストタイミングで、JEMSにつながることになりました。

クリスチャンの非営利団体で仕事が見つかることは期待していませんでしたが、御国建設のための働きをしているJEMSで、自分に与えられた能力を使うことができることに、喜びを感じています。

「あなたは私の心に喜びを下さいました。それは穀物と新しいぶどう酒が豊かにあるときにもまさっています。」(詩篇4:7)

ヘレナさんは、賜物を生かしてアドミニストレーターとして素晴らしい働きをしています。主が私たちの祈りに応えて、JEMSの働きを祝福して下さいて下さることを見させていただきました。



## 第25回 北加ゴルフトーナメント

日時:2020年5月2日(土) 1時スタート

場所:Village Golf & Country Club

5000 Cribari Ln., San Jose, CA

費用:1人\$115(カート、お弁当代を含む)

申込み締切:4月17日(金)

申込み/問い合わせ [revsamt29@gmail.com](mailto:revsamt29@gmail.com)

JEMS サム外村

収益はJEMS ミッションの働きに用いられます。



## JEMS エジプト&ヨルダンツアー

### —4泊のナイル川クルーズ付き—

日時:2020年10月7日(水)ー20日(火)

費用:1人\$4,595(2人部屋)

申込み:申込み書と\$500のデポジット・チェック  
(JEMS宛)をJEMSまで郵送

問い合わせ [revsamt29@gmail.com](mailto:revsamt29@gmail.com)

JEMS サム外村

現地ガイド付き、サム外村とテッド江崎師が同行

【編集後記】  
「主はわたしの魂をいきかえらせ、み名のためにわたしを正しい道にみちびかれる。あなたにわたしと共にいられるからです。」今朝の日曜礼拝のメッセージの中に詩篇二三篇を聞きました。世の中が騒然とし、不確かな情報や町を飛び交い不安にかられてしまっているとき、確かな居場所を見つかることができるのは、なんといい平安、なんといい優しさ。あなたがわたしと共にいられる。いこいのみぎわに伴ってくださる復活の主、口から零れるのは感謝のことば。西原黎子



【近況報告】  
久しぶりにドクターのチェックアップに行ったら、コレストロールが高めの診断が出ました。肉類が苦手、油っこい食事も好んで食べる方ではなく、野菜や果物が好きなのに、まさかの診断。早速ググってみると、甘い物も控えましょう、とありました。検診前にドーナツを食べたのが悪かったか。過信、おごりは禁物と改めて思いました。キリストの血潮という大きな代価が払われ、聖霊の宮としての身体である恵みを思い、大切に管理していくことを思わされています。藤本三奈子

**JEMS ADMINISTRATION**  
Rev. Dr. Richard Chuman -  
Executive Director & Minister at Large  
Daichi Tsuruta-Senior Accountant  
Barrett Louie-Accounting Assistant  
Darryl Wong-Missions Administrator  
Mary Tabuchi-Office Administrator

**JEMS BOARD OF DIRECTORS**  
David Akiyama-President  
Joel Nagatashi-Vice President  
Larry Kurumiya-Treasurer  
Don Yamagishi-Secretary  
Ann Kurumiya-Recording Secretary  
Members at Large: Kevin Hayashida,  
Keith Kobayashi, Greg Oda, Mark Okada,  
Lawrence Tonomura, Ada Yeh

**JAPAN MISSIONS**  
Roy Toma Director  
Amakusa Shinsetsu Ministry

**JAPAN MISSIONARIES**  
Tim & Chie Burns-Nagoya  
Anne & Riz Crescini-Kitakyushu  
Ethan & Michele Fisher-Gifu  
Todd & Jayne Fong-Tokyo, CAJ  
Gayle Gutierrez-Machida  
Paul & Yu Kang-Nagoya  
Revs. Michael & Chris Mason-Osaka  
David & Yuka Mills-Kanagawa, J-Lodge  
Paul & Rie Mizuki  
Mitsuyoshi & Kristin Nakamura-Nagoya  
Julie Nitao-Rifu,Miyagi  
Kuni & Kristen Onishi-Kobe  
David & Tomo Robison-Tohoku  
Jon & Maki Robison-Tohoku  
Lily Suzuki-Amakusa  
John & Kazumi VanFarowe-Tajimi  
Nozomi & Kevin West-Kobe  
Fred & Chikako Whitner-Tohoku  
Joseph & Yumiko Wu-Kobe  
Reo Yoshida-Kobe  
**SOUTH AMERICA MISSIONS**  
Rev. John Katagi-Director

**JAPAN AFFILIATES**  
Rev. Paul Ariga-All Japan Revival Mission  
Mark & Jennifer Bello-Sulside Is a Lie, There Is Hope-Tokyo  
Rev. Magumi Enomoto-Shiga  
Nozomi Houlette-Nozomi Project  
Nao & Barbara Hanada-Director of AIGJ  
Rev. Timothy Himel-Soden,JEMS Japan Coord.  
Moto Kimura & Jo Nakamura-OneMusic  
Rev. Yoshihiro Kishi-Mission 2001, Music  
Hideo Kobori-Kyoto, Music  
Rev. Masashi Sugita-Dublin, Ohio  
Tomoto Suzuki-Tohoku  
Rev. Chandler Im-Tokyo Waseda Int. Christian School

**DIASPORA MINISTRY**  
Eri Kobayashi (SoCal)  
Rev. Dennis Peters (NorCal)  
Akiko Sugimori (SoCal)

**US AFFILIATES**  
Ray Sidney, Amy Lachica, -Here to Praise Ministries  
Dr. Martin Yahiro-JUMP-Japan Upward Mission Project  
Ms. Nana Yamamoto-USA Evangelism  
Dr. Patrick Zukeran- Christian Apologetics

**AACF CAMPUS MINISTRIES OF JEMS**  
Jon Liu-AACF Director  
Chloe Chow-Media Coordinator  
**AACF CAMPUS MINISTERS**  
Chong Ahn, Rev. Melanie Mar Chow,  
David Fong, Rev. Victor Quon

**AACF CAMPUS MINISTERS (Volunteers)**  
Betty Chen, Bruce Chow, Ashley Donald,  
Evelyn Fan Encarnacion, Nathan Fong, Helton Kuan,  
Ed Kwong, Joyce Lam, Jasmine Lee, Adrian Li,  
Kylie Liu, Amie Ong, Mark Quan, Janet Reksaatmodjo,  
Johannah Rosario

**MOUNT HERMON FAMILY CAMP**  
Craig Wakamoto-Director  
Lisa Nagahori-Registrar

**MOUNT HERMON YOUTH CAMPS**  
Jr. High Directors-Garrett/Cynthia Tsushima  
Inter High Director-Joel Nagatashi  
Sr. High Director-Ken Shida  
College Director-Ryan Najima  
Special Camp Directors-Bruce/Valerie Satow

**MOUNT HERMON YOUTH CAMPS**  
Lisa Nagahori-Coordinator  
**MUSIC AND MEDIA**  
Lowell E. Sue-Director

**NICHIGO MINISTRIES**  
Minako Fujimoto-US Coordinator  
Rev. Dr. Ryohel Kawano - Overseas  
Church Consultant  
**PACIFIC NORTHWEST**  
(STATE OF WASHINGTON)  
Rev. Carolyn Y. Shimabukuro -  
PNW Director & AACF Regional  
Director

**SENIORS & MEN 4 MISSIONS**  
Rev. Dr. Sam Tonomura- Director

**SPORTS AND RECREATION**  
Victor/Linda Louie - Volleyball  
Ken/Mary Tabuchi - Softball  
John Lee- Basketball League

**JEMS JOURNAL**  
Emily Okada-Layout & Graphics  
Keyline Lithography -Printing

**JAPANESE EVANGELICAL MISSIONARY SOCIETY**  
948 East Second Street  
Los Angeles, CA 90012-4317  
213.613.0022  
E-Mail: info@jems.org www.jems.org

RETURN SERVICE REQUESTED

**NON PROFIT**  
Auto  
**US POSTAGE PAID**  
Los Angeles, CA  
Permit #21877



## 第2回 MEBIG ロサンゼルスセミナー

集まってくるのには法則があった!

【日時】 5月16日(土) 午前9時半-午後6時 &  
17日(日) 午後3時-7時

【会場】 ガーデナ平原バプテスト教会

1630 W. 158th St. Gardena, CA 90247

主催: MEBIG セミナー委員会

(愛隣チャペルキリスト教会 代表:内越努)

協催: JEMS

問い合わせ: minakoF@jems.org (213)613-0022  
JEMS 藤本まで



### 目次

- P 1 & 2 : イエスの復活は止められない 長沢崇史師  
P 3 : イースター随想 酒巻和美夫人  
P 4 : メビックで受け継いでいくもの 佐渡はるな姉  
P 5 : JEMS 宣教の働きにご協力を感謝!

近況報告

藤本三奈子

編集後記

西原梨子